

漫湖水鳥・湿地センター

たよひ

2006年4月10日発行

No.33



漫湖水鳥・湿地センター 自然観察会

春の野鳥観察



上:望遠鏡で野鳥を観察する参加者。

クロツラヘラサギを間近に観察することができました。

右:山城先生が図鑑を使って丁寧に野鳥の見分け方を教えてくださいました。

3月19日の観察会は、鳥たちが北へ渡ってしまう前に観察をしようということとで、沖縄野鳥の会の山城正邦先生を講師に、野鳥観察を行いました。

まず、センターのレクチャー室で漫湖の野鳥や今日観察できる鳥の観察ポイントなど、山城先生から説明を受けました。

そして、望遠鏡を持って干潟へ出発！

干潟に着いて間もなく、クロツラヘラサギを発見しました。はじめは遠くにいましたが、その後、1羽がすぐ近くまで飛んできました。望遠鏡いっぱいに見えたクロツラヘラサギは、冠羽がのび、とてもきれいな夏羽でした。まさに、「この季節ならではの観察で参加された方も大満足。

その後、とよみ大橋や肥龍橋まで足を伸ばし、細かく観察をしました。

サギ類やシギ類の観察も行い、山城先生が鳥の見分け方など、図鑑を使って丁寧に説明されました。参加者から、クロツラサギ類の見分け方が少し分かってきました。「この感想をいただきました。

センターに戻り、観察できた鳥を確認しました。

この日は、少し風が強かったものの、天気がよく、たくさん鳥を観察することができました。今年度最後の行事にふさわしい、楽しい観察会でした。



楽しめる施設、ていあんだのセンターをめざして

広川ヨシ子

初夏の陽ざしの下で、漫湖水鳥・湿地センターが開所してから3年の時が経ちました。

ふりかえりますと、様々な出来事がありました。

日々の業務である来館者案内はもとより、鈴木環境大臣のご来館案内、各種行事の実施、観光客の案内、本土の高校生、大学生の研修受け入れ、教師研修、地域の学校の総合学習への支援、デイサービスの来館案内、それと、あってはならない施設内で起きた事故への対応等々。

本当にめまぐるしい立ち上げの3年間でした。

でも、そんな状況にありましても、唯一安らぎを覚えたのが、子どもたちの屈託のない笑顔、お年寄りの素朴な質問と大型映像よりリアルに映し出される鳥たちのしぐさでした。

その間、関係機関のご支援と多くの方々の励ましがあったからこそ、今日までやってこられました。

深く深く感謝申し上げます。

今年度、これまで以上に気を引きしめて、何よりも皆様に「楽しめる施設、ていあんだが伝わるセンター」になるように職員一同邁進していきます。

今年度もどうぞよろしくご指導のほどをお願い致します。

*ていあんだ：沖縄の方言（心がこもった、手づくり）

****湿地センターゴールデンウィークの行事予定****

こどもの日企画 「自然を遊ぼう！！」

センターの芝生広場で自然の植物などを使ってゲームをします。遠くに行かなくても、身近な自然で思いっきり遊んじゃいましょう！！

日 時：5月5日（金）13時～15時

場 所：漫湖水鳥・湿地センター

対 象：小学生・親子*低学年は保護者同伴

定 員：30名（要予約・先着順）

費 用：保険料100円

持ち物：帽子・タオル・飲み物・汚れてもよい服

雨天時は、雨具

問い合わせ：漫湖水鳥・湿地センター(098)840-5121



映画上映会

撮影3年、制作費20億円を費やし、100種類以上の渡り鳥たちとともに地球全土を旅した末に完成した、鳥の視線による脅威の映像

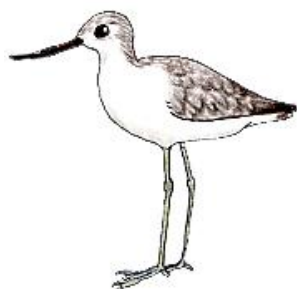
映 画：「わたりどり」

日 時：5月3日、4日、6日、7日

13時～14時半

場 所：漫湖水鳥・湿地センター レクチャー室

入場無料



漫湖水鳥かわら版 33

～3月 旅立ちの季節～

3月	羽数	先月との比較
カイツブリ	1	↓
ゴイサギ	1	↑
ササゴイ	1	↑
ダイサギ	12	↑
チュウサギ	11	↑
コサギ	11	↑
アオサギ	53	↑
クロツラヘラサギ	4	↓
ツクシガモ	1	→
オナガガモ	2	↓
キンクロハジロ	2	→
ミサゴ	4	↓
ハヤブサ	1	→
バン	3	↓
シロチドリ	2	↓
ムナグロ	61	↓
ダイゼン	16	↓
アカアシシギ	18	↓
アオアシシギ	35	↓
キアシシギ	1	→
イソシギ	7	↓
オオソリハシシギ	1	→
ダイシャクシギ	10	↓
チュウシャクシギ	10	↑
カワセミ	1	↓
ハクセキレイ	4	↓
合計	273	↓

3月14日

朝、センターの2階から干潟を見ました。干潟中央部分に見えたのは、アオサギ・アオサギ・アオサギ・・・その数53羽。「おお!!」思わず声が出てしまいました。

いつも見慣れている鳥ですが、やはりアオサギほどの大きな鳥がたくさん集まると迫力がありました。

「北へ渡る相談でもしているのかな？」センター職員でアオサギ同士の会話を想像して楽しみました。



3月

3月は、別れの季節。冬の間、漫湖にいた鳥たちともお別れです。12月20日から毎日のように漫湖にいたツクシガモは、3月4日を最後に、姿を見なくなりました。

豊見城市の具志干潟などで冬を過ごしたクロツラヘラサギは、3月26日に朝鮮半島で確認されたようです。

漫湖にはまだクロツラヘラサギがいますが(4月10日現在)、いつ旅立ってしまうのでしょうか?今は渡りのための栄養をためているのか、一心不乱にエサを食べている姿をよく見ます。





平成 17 年度もご来館ありがとうございました!!

総来館者数 58,962 人

平成 17 年度来館者数 17,232 人(団体 5,810 人)

17 年度 市町村別入館者数

市町村	人数(人)	市町村	人数(人)
那覇市	7,201	浦添市	260
豊見城市	3,993	宜野湾市	220
県外	2,331	東風平町	136
糸満市	505	沖縄市	128
南風原町	380	外国	122

17 年度もたくさんの方に利用していただきました。3 年間の総来館者数は、58,962 人になりました。

今年度も地元那覇市・豊見城市からの来館者が多く、小学生の総合学習などに活用していただきました。また、県外からもたくさんのお客さまが来館されました。都会の中に広いマングローブが広がっていることにみなさんびっくりされていました。

団体利用

3 月	地域
保育園・幼稚園	
おなが保育所	豊見城市
鏡原保育所	那覇市
めばえ幼稚園	糸満市
小学校	
識名小学校 2 年生	那覇市
大学・専門学校	
愛知教育大学	愛知県
医療・福祉関係	
デイサービス夢ぬ間	那覇市
その他	
はえばるエコクラブ	南風原町
こどもエコクラブなは大会	那覇市
ボーイスカウト那覇 3 団	那覇市
ボーイスカウト具志川 1 団	うるま市

**3 月の入館者数
1,618 名
うち団体 270 名)**



3 月 26 日
こどもエコクラブなは大会がセンターで行われました。漫湖を 1 年間調べた鏡原中学校の皆さんも発表しました。

*** 編集後記 ***

蒸し暑く感じる日が多くなりました。

すぐに、真夏の太陽が照りつける毎日がやってくると思いますが、センターも沖縄の太陽に負けないほど、あつく、元気な 18 年度にしたいと思っています
今年度もよろしくお願いたします!!



中井 聡子

〈 漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会 (環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市) 〉

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ~ 17:00 休館日: 月曜日 (月曜日が祝日の場合・翌日)、年末年始 (12/29 ~ 1/3)

E-mail: manko_mizudori@ybb.ne.jp

HP: [http:// www.geocities.jp/manko_mizudori/](http://www.geocities.jp/manko_mizudori/)